

市報

足利



平成7年

2/1号

No. 775

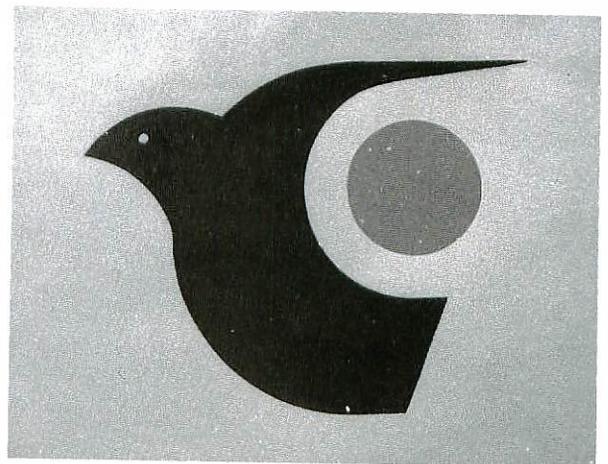
うるおいと活力あふれる未来にはたか交流都市



定住・交流センター 愛称は「サンメッセ鳥栖」に シンボルマークも決まる

今年秋のオープンを前に市が広く募集していた「定住・交流センター」の愛称とシンボルマークがこのほど決まりました。

愛称は「サンメッセ鳥栖」。鹿島市の吉村金一さん(36歳)の作品で、サン(太陽)とメッセージ(伝言)を合わせた造語。明るく元気の良い、人に優しい施設をイメージしたもので、駅東の新市街地に太陽のように輝いてほしいという願いが込められています。シンボルマークは佐賀市の牛嶋信之さん(68歳)の作品。鳥栖の頭文字でひらがなの



鳥栖の「と」を鳥の姿にアレンジしたシンボルマーク

「と」を、羽根を伸ばし広げて飛ぶ鳥の姿にアレンジしたもので、色はブルー。中央の朱色の円を囲むデザインは、市民の交流、参加を呼びかける姿を表現しています。

愛称には市内外から六十七点、シンボルマークには五十三点の応募があり、一月六日に開かれた市民代表など十二人から成る選定委員会で選定し、決定しました。愛称は親しまれる施設の呼び名として、また、シンボルマークはパンフレットなどに使い、施設のピーアールに活用することになっています。

総合計画を全面見直し

2,000人を対象に市民意識調査

郵便、ファックスでも受け付けます

市では「うるおいと活力あふれ未来にはばたく交流都市」を基本理念とした総合計画を平成元年に策定し、これに沿って住みよいまちづくりで最善の努力をしています。

しかし、その後の社会経済情勢の変化に伴い、市を取り巻く環境は著しく変化し、新たな対応が求められています。

このため、市では総合計画の全般的な見直しを行い、来たるべき二十一世紀に向けた新たな総合計画を策定することになりました。

そこで、市民のみなさんの声をこの計画に盛り込むため「市民意識調査」(アンケート調査)を実施します。



調査は市内の二十歳以上の方から無作為に選ばせていただいた二千人の方を対象に、あらかじめ市でお尋ねしたい項目を記した調査票を直接郵送し、調査をお願いするものです。

あなたの声をまちづくりに反映させるためにも、調査に該当された方はご協力をお願いします。調査票の発送は二月中旬を予定しています。

また、この調査に該当されなかった方についても、その貴重なご意見を郵便またはファックスで次のとおり受け付けます。

受付時間 二月一日(水)から同二十八日(火)まで(ファックスは二十四時間受け付けます)

調査内容 保健・福祉・教育・環境・農林業・商業・交通など現在の市についてご自身が思っていること、また将来にわたって市にこうあってほしいと望むこと

送付先 ファックスは☎3688、郵便は鳥栖市役所企画

課(〒841鳥栖市宿町一八番地)へ。あなたがお住まいの町名、年齢、性別もご記入ください。

人間ドック受診料を助成

国民健康保険に一年以上加入されている三十歳以上六十九歳以下(平成七年三月三十一日現在)で国民健康保険税を完納されている方を対象に、人間ドックの受診料を助成します。

検診機関は下記のとおりで、受診期間は二月十五日から三月十五日まで。定員三十人になり次第締め切ります。なお、助成は年度内に一人につき一回限りです。

自己負担額 一万円(検診料の三割程度)。ただし、今年度健康家庭表彰を受けた方と前年度無受診者は無料です。

申し込み 被保険者証と印鑑を持参のうえ、二月十日から同二十八日まで(土・日・祝日を除く)の午前十時から午

一月十七日未明に発生した「兵庫県南部地震」は淡路島、神戸市、西宮市などを中心に多数の死傷者を出しました。被災者のみなさまに対し、心からお見舞いを申し上げます。亡くなられた方々のご冥福

兵庫県南部地震

災害義援金受け付け

共同募金会・日赤
災害義援金を受け付けて
十字社佐賀県支部では、市社会福祉協議会を窓口にて被災者への災害義援金を受け付けています。
お問い合わせは市社会福祉協議会(☎3555)へ。

をお祈りいたします。

佐賀県共同募金会と日本赤

十字社佐賀県支部では、市社

会福祉協議会を窓口にて被災者

への災害義援金を受け付けて

います。問い合わせは市社会福祉協議会(☎3555)へ。

石田 医院	古賀町	田尻外科胃腸科医院	幸津町
上野 内科	田代外町	武田内科医院	村田町
鳥栖 病院	原町	野下 医院	曾根崎町
永吉内科病院	永吉町	野田 内科	西田町
古賀内科医院	宿町	三輪堂 医院	元町
古賀 病院	本通町	藤戸 医院	今泉町
きざと外科医院	原町	前山 内科	宿町
玄々堂 内科	曾根崎町	松岡 病院	西新町
斎藤内科医院	東町	山 津 医院	萱方町
白水 医院	本通町	米光クリニック	本町

ロードレース大会結果

●第7回高校生鳥栖10キロロードレース大会(参加二百九十一人)

- ①樋山和弥(九州国際大附属、30分38秒)
- ②山内智嗣(熊本市立商業)
- ③山内康輔(同)
- ④古賀聖治(九州国際大附属)
- ⑤鳥羽瀬進一(熊本市立商業)
- ⑥吉留光一(九州国際大附属)
- ⑦堤忠之(鹿島実業)
- ⑧豊住真吾(熊本市立商業)
- ⑨山口孝政(同)
- ⑩松本匡史(福岡大附属大濠)

大附属大濠

●第33回鳥栖市祝成人ロードレース大会(参加千二百九十三人・一位以外は市内入賞者のみ)

- 【一般11歳・参加四百二十二人】
- ①永渕和行(佐賀郡、33分39秒)
- ④真子寛盛(山都町)
- ⑥古川昌道(本町)
- 【市内一般】
- ①真子寛盛(山都町、34分55秒)
- ②古川昌道(本町)
- ③舟木正明(養父町)
- ④山津茂樹(加藤田町)
- ⑤坂本満(宿町)
- ⑥篠原信浩(今泉町)
- 【高年齢者5歳・参加三十二人】
- ①川上光則(出雲市、20分51秒)
- 【壮年5歳・同百十七人】
- ①吉末正幸(佐世保市、17分18秒)
- ⑥宮本徹夫(本町)
- 【一般女子5歳・同八十二人】
- ①榎本みどり(粕屋郡、18分55秒)
- 【中高生女子5歳・同百二十二人】
- ①脇山真裕子(中村学園女子高、17分20秒)
- ⑤松隈久美子(鳥栖商業、17分53秒)
- 【中学生5歳・同二百二十三人】
- ①納富亮(昭栄中、16分28秒)

式成人「新成人」誓い新たに

ロードレース大会 市内外の1293人が健脚競う

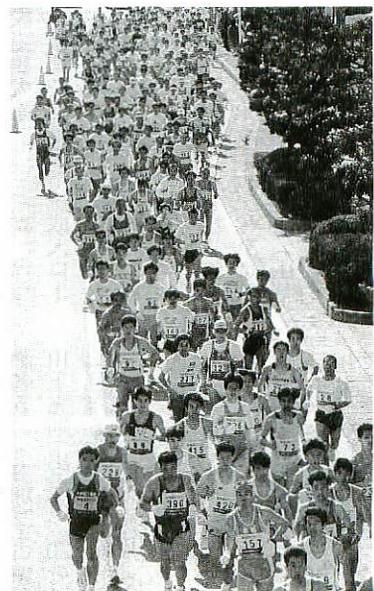
成人の日の一月十五日、鳥栖市成人式が市民文化会館で開かれ、去年より八十七人多い千二十三人（男性五百四人、女性五百十九人）が責任ある大人としての誓いを新たにしました。

細形銅剣のテレホンカードを手渡したあと、あいさつの中で「成人するということは、大人としての権利が与えられると同時に、社会に対する義務と責任が課せられます。誇りと責任を持ってこれからの人生を歩んでください」と激励。

そして、人生の節目、節目で自分自身を振り返って、悔いがないと言える人間になりたい（宮下）と力強く述べました。

式典終了後、会場前には色鮮やかな振り袖姿や真新しいスーツ姿の新成人があふれ、久しぶりの級友との再会を喜ぶ姿や一緒に記念写真に収まる光景があちらこちらで見られました。

また、正午からは新成人を祝う恒例の第三十三回鳥栖市祝成人ロードレース大会と第七回高校生鳥栖一〇ロード



一団となってスタートした選手たち

レース大会が開かれ、北は群馬県から、南は熊本県までの千二百九十三人が鳥栖筑紫野バイパスをコースに健脚を競いました。

振り袖姿の新成人のほか、大勢の市民が沿道から力走する選手に声援を送り、大会を盛り上げました。大会成績は三ページに掲載していますので、ご覧ください。



決意発表をした3人に鳥栖園児が花束を贈呈

新成人を代表して古賀直樹くん（原古賀町）、有馬秀樹くん（西田町）、宮下真紀さん（同）の三人が決意を発表。

「困難なことに挑戦するのが若者の特権。乗り越えられないような強固な壁に直面しても、ひるまず目的に向かって着実に歩いていきます（古賀）、「高校卒業までは、周囲の人に迷惑をかけずに社会人としてやっていけると思っていたのが、いざ就職して自分の考えがいかに甘かったか痛感しました。私たちがあ

消防出初め式 1年の無火災祈る



新春の空に描かれた五色のアーチ

恒例の消防出初め式が一月八日、市役所前広場で行われました。午前九時の打ち上げ花火を合図に、鳥栖工業高校プラスチック部の演奏のもと、団員約三百五十人と消防自動車、ハシゴ車、ポンプ車などが鳥栖駅前から市役所までを市で行進。市役所前広場では、山下市長や宮原市議会議長らが整列した団員や機械器具を檢閲したあと、ポンプ車が一齐に放水し、新春の空に五色のアーチを描きました。

このあとの式典では、山下市長が「昨年は高温と異常乾燥で火災件数が増加しましたが、みなさんのご協力で大火は避けられました。消防活動は住民の

尊い生命と貴重な財産を守り、市民生活の安定向上に大きな役割を果たすものです。消防の重要性を深く認識し、新たな決意で一層精進してください」とと団員を激励。火災の早期発見と初期消火に努められた一般協力者や、優良団員の表彰などを行い、最後に全員で「火の用心」を三唱して一年の無火災を祈りました。

なお、表彰された一般協力者は次の六人の方々です（敬称略）。

佐賀県立鳥栖高等学校▽内田忠義（曾根崎町）▽野下貞美（同）▽山本英規（元町）▽渡辺直也（立石町）▽今村トシエ（立石町）

本町鳥栖北小PTA 「ほんげんぎょう」で三世代交流



威勢よく竹がはじける中、正月飾りなどが投げ入れられた

正月の伝統行事「ほんげんぎょう」が一月七日早朝、本町の八坂神社境内で行われ、周辺の住民約百人が訪れました。

同町の鳥栖北小学校PTAが、姿を消しつつある伝統行事を子供たちに伝えるとともに、お年寄りから子供まで親子三代のふれあいの場にと、二十年ほど前から実施。前日には老人クラブの指導で五、六年の男子児童と保護者約二十人が竹とわらで、高さ十五メートルにもなるやぐらを組み上げました。

当日は、神主が祝詞をあげたあと、児童八人が松明でやぐらに火を入れると、瞬間に火柱となって炎上。ポンポンと竹がはじける威勢のよい音が周辺に鳴り響くなか、訪れた人たちは家から持つてきたしめ縄飾りや書き初めの習字、破魔弓などを次々と投げ入れ、境内ではぶた汁とぜんざい、御神酒がふるまわれました。

この日は本町のほか宿町など数か所で、一年の無病息災を祈る「ほんげんぎょう」が行われました。

筑紫会が空き缶回収

牛原町の住民十九人でつくる筑紫会（才田良美会長）が一月二十二日、区内道路沿いの空き缶回収を行いました。



雨の中、30袋ものごみを回収した筑紫会のメンバー

雨の中、バイパス、筑紫神社、河内方面の三方向から同町公民館までの区域で拾い集められた空き缶、ビン、ごみ類は約三千袋。このほか自転車、テレビといった大きなものが捨ててあり、会員は「こんなものを捨てるなんて」とあきれた表情でした。

筑紫会は、地域の美しい山や川を守り残そうと、平成五年五月に発足。空き缶回収のほか、シャワー橋のある安良川の清掃、立石町のヤマメ会と合同で実施しているヤマメの放流、植樹などの活動を行

っています。

才田会長は「全員でいろんな活動をするので、年齢の違いを超えた交流が深まる」と同時に、空き缶回収活動を通して会員はもちろん、家族にもごみを捨てないという意識が広まる。今後は、浴道のみなさんの同意が得られれば、植樹を続けて美しい並木道をつくり上げたい」と地域づくりに意欲をみせます。

鳥栖市統計グラフィコンクールの審査が終わり、特選に小学校低学年の部で道田大樹くん（鳥栖小三年）と安原且くん（同）の合作「サッカーVS野球どちらが人気」が、同高学年の部で大塚未央さん（鳥栖北小六年）の「わたしたちの市の図書館」が選ばれました。また、両作品はこれに先立って行われた県コンクールでも入選しました。

そのほかの入賞者は次のみなさんです。

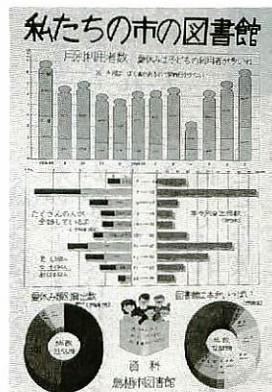
【小学生高学年の部】入選
|| 「みんなで考えよう地球のゴミ」川崎菜穂美・森智代・

統計グラフィコンクール

特選に道田・安原くん、大塚さん

鳥實梓（合作、鳥栖小四年）
▽「水を大切に」梅梢・紫村聡美（合作、同）▽「くらしのアンテナ」東島英志（麓小五年）▽「水のしくみ」久保

子（合作、同）▽「増え続ける鳥栖のゴミ」中地祐介・原茂浩（合作、若葉小六年）



大塚さんの作品



道田・安原くんの作品

トピックス

25年の保護司活動で大臣表彰

毛利 治夫さん(68歳、永吉町)



「名誉ある表彰を受けて、誓いを新たにしました。今後もライフワークとして活動していきたい」
保護司として二十五年間、

昭和四十四年、四十四歳の若さで保護司に委嘱された当時は、指導の難しさを痛感し、辞めたいと思ったことも…。

「誠心誠意を尽くしても実らないこともありましたが、だれかがやらなければならぬ仕事。見守ってきた人が立ち直ってくれ

ることが保護司として最大の喜びです」
平成五年四

あんひと

こんひと

③①

月には鳥栖区の保護司会会長に就任。仕事の性質上、保護司というものが一般の人によく理解されていないため、まつり鳥栖のパレードに参加したり、七月の「社会を明るくする運動」期間中に管内市町村長を表敬訪問するなど、制度

のピーアールにも余念がありませぬ。
「私たちには守秘義務があるので、たとえ家族であつても内容は漏らせません。そのことが保護司の仕事がなかなか理解されない要因ともなっているのです
が…。一般の方には制度への認識を深めていただくと同時に、罪を犯した人を温かく受け入れていただくようお願いしたい」
十二月に佐賀市で開かれた県大会では、毛利さんをはじめ二十一人の保護司や内助功労者などに各種の表彰状や感謝状が伝達され、長年の労をねぎらいました。

農業 新時代

◁45▷

「安心して食べられる農作物を消費者の意識改革が大切」

「野菜や果物を買う時、見た目を気にしていた消費者の意識も、今は随分変わってきているようです」と話すのは鳥栖市消費者グループ協議会の代表を務める時津涼歌さん(本通町)。同協議会は四十年代、

五十代の主婦を中心に約二十人の会員を持ち、健康福祉まつりでの生活展や廃品トレーの回収活動のほか、年末恒例の青空市を市役所前広場で開いています。

「今、消費者の立場から店



「気になるのは安全性」と時津さん

頭の野菜や果物を見る時、最も気になるのは安全性。農薬が人体に与える害が知られるにつれ、最近では低農薬、無農

薬のものが好まれていくようです。青空市では、消費者に安全な野菜をと、JA鳥栖基山婦人部の協

「農家の方が夜盗虫を手で取って消毒回数を減らす努力をしているという話を聞きました。消費者としても大変有り難いことです。安全で安心して食べられる低・無農薬の農作物が流通するためには、多少の虫食いがあっても形が悪くても、それを買うという消費者の意識が大切。農家の苦勞を多くの消費者が知る機会があれば、そういう意識がもっと育つのでは…」

建設部建設課管理係

脇 弘人



管理係では道路工事などで通行規制を行う場合の申請書の受け付けや、道路の舗装、カーブミラー、ガードレール、緑地帯の点検・復旧などを担当。現在市道の総延長は約五百六十キロで、市民のみなさんの生活に密着したこの道路を利用しやすいものにするため、毎日パトロールを行い、維持・管理に努めています。

いけいけ! フューチャーズ

[チェアマン、講演会で激励]

熱弁をふるう川淵チェアマン



Jリーグ（日本プロサッカーリーグ）の川淵三郎チェアマンが一月十五日、鳥栖市民文化会館で「スポーツ界を変える男——Jリーグを語る」と題して講演。Jリーグ誕生のいきさつや理念をユーモアを交えて語り、集まった約千人の聴衆の拍手喝采を浴びた。

講演に先立ち、川淵氏は山下市長の案内で、市がJR鳥栖駅東に昨年末から建設を進めている鳥栖多目的スタジアムを視察し、「交通アクセスは日本一」と高く評価。会場となった市民文化会館前では、チェアマンを待ち受ける市民やサッカー少年、誘致委員会メンバーなどの熱烈な歓迎を受け、川淵氏はファンと握手を交わすサービスぶりだった。

講演では「鳥栖は想像以上に素晴らしいまち。特に北小學校を見て、このような発想のできる鳥栖市こそJリーグがあるにふさわしいまちだと実感した。鳥栖フューチャーズがJFLで優勝し、Jリーグで活躍できることを祈念したい」と述べた。

講演後の記者会見では「数年前、通りすがりに見た印象では、大丈夫なのかなと心配していたが、今日、鳥栖のまぢを見てもらい安心した。市長はじめ市民の決断を無駄にはしない」と励ました。また、観客動員についても触れ、「クラブとして運営していくためには入場者数は無視できない。一試合平均五千人を割るようなことでは困る」と述べ、フューチャーズに対して「外人の監督や選手を獲得し、いい方向に進んでいると思うが、日本人選手のレベルアップが課題。若い選手が育っていくことを期待したいし、真しなプレーで市民の賛同を得ることが大切」と、魅力あるチームづくりを求めた。



今後の活躍が楽しみな真子くん
代表メンバー

「当面の目標は二月十七日から三日間開かれる県内一周駅伝で頑張ること。大会までに調子を最高に持っていきたい。今は、自分で自分自身がどこまで伸びるかが楽しみです。」
やっと大人の仲間入りをした若き長距離ランナーのこれからの活躍が期待されます。

市内外から約千人が参加した第三十三回鳥栖市祝成人ロードレース大会が一月十五日、

間が三十分ほどしかなかったわりには、まあまああつたそれに市外を含めた一般の部で六位入賞が目撃されたので、四位の成績にも満足しています。

練習は毎日、千回十本、三千回三本といったインターバル練習を中心に、休日には二十以上の走り込みを欠かしません。

Viva! ビバ スポーツ ④

祝成人ロードレース大会 市内一般で初優勝

鳥栖筑紫野バイパスを舞台に開かれ、市内一般の部（11歳）で真子寛盛くん（20歳、山都町）が34分55秒の記録で初優勝を飾りました。同日、市民文化会館で開かれた成人式を終えて、大会に出場した真子くんは「準備の時間

として九州一周駅伝を経験。「体力面でも精神面でも、力の差をはっきり感じた試合でした。これからは、腹筋や背筋などの基礎体力の強化と走り込みで、どれだけ他の選手に近づけるかが課題です」

さわやかさん ②

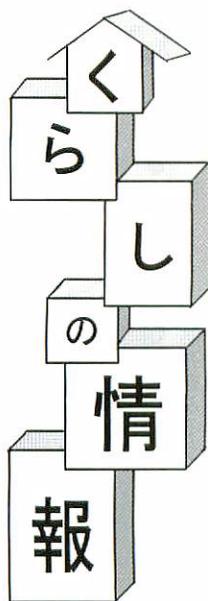
佐賀事業所は平成四年、鳥栖西部工業団地内に設立。最先端の技術を駆使して半導体製造装置を製造し、国内はもとより海外の大手半導体メーカーに出荷する一方、新しい技術への研究・開発を続けています。

私は洗浄技術部に所属し、七十人の技術者のみなさんのアシスタントとして、日々かけ回っています。次々に様々な仕事が増え、大変忙しい職場です。休日は友人と久留米などによくショッピングに出かけますが、鳥栖も駅前からのメインストリートを整備して、若い人が遊びに行きたくなるような魅力ある場所にしてほしいですね。



東京エレクトロン九州(株) 佐賀事業所勤務

横溝 真弓さん
(21歳、田代本町)



催し

鳥栖の町づくりと歴史・文化講座

◆江戸時代の税制について
とき 二月十七日(金)午後七時

ところ 鳥栖商工会議所二階
講師 松隈嵩氏・高尾良氏(市文化財保護審議会委員)
申し込み 鳥栖歴史研究会・内野武史(教育委員会社会教育課内 ☎3695)へ

保健

母と子の遊びの教室

保健センターでは、親子で楽しく遊ぶための「母と子の遊びの教室」を開きます。

子どもは一歳半を過ぎるころから運動能力も活発になってきます。この時期にお母さんと一緒に遊ぶことは言葉を学び、豊かな感性を育むため

にも大変重要です。

お気軽にご参加ください。

とき 二月二十三日(木)午前

前十時~十一時半

ところ 保健センター

対象 一歳半から二歳半ぐ

らいまでの幼児とその母親

申し込み 保健センター(☎

3650)へ。先着二十五

組で締め切ります。当日は運

動ができる服装でご参加くだ

さい

募集

とす弥生まつり参加団体・個人

「歩こう!自然と歴史のふるさと」をテーマに四月二日(日)田代公園一帯で開かれる第八回「とす弥生まつり」へ参加する団体・個人を募集します。

参加は、ふれあいバザール(テント村)、弥生ロードウォーキング大会、史跡めぐり、弥生土器焼き、弥生仮装コンテスト、鳥の鳴き声コンテス

市税務課では所得税と住民税の申告相談を行います。申告相談は二月十七日(金)から三月十五日(水)まで(土、日は除く)各地区の相談会場と市役所で行います。

所得税と住民税の申告相談

2月17日から3月15日まで

参考申告の必要方は、各自申告会場までお越しください。なお、各地区の相談会場での受け付けは住所地でなく、加入している区(区に未加入の方は住所)による地区割になっていますので、ご注意ください。詳しくは税務課市民係(☎3588)へ。

期 日	相 談 会 場	該当地区(加入している区)
2月16日(休)から 3月15日(休)まで	鳥栖税務署	全地区
2月17日(金)・20日(月)・21日(火)	J A鳥栖基山麓支所	麓地区
2月22日(水)・23日(木)・24日(金)	旭支所	旭地区
2月27日(月)・28日(火)	鳥栖公民館	轟木町・藤木町・今泉町・真木町・高田町・安楽寺町・南部団地
3月1日(水)・2日(木)・3日(金)	J A鳥栖基山基里支所	基里地区
3月6日(月)・7日(火)・8日(水)	田代公民館	田代大官町・田代上町・田代昌町・田代新町・田代外町・田代外町住宅・田代本町・永吉町・袖比町・今町・加藤田町
3月9日(木)	神辺町公民館	神辺町・萱方町・古賀町・河内町
3月10日(金)・13日(月)・14日(火)・15日(水)	鳥栖市役所2階第1会議室	鳥栖北地区・元町・秋葉町・東町・本通町・京町・事業団宿舍・柳団地・古賀団地・浅井町

※時間はいずれも午前9時から午後4時まで

トのほか、団体やサークルのPRとともに市民が参加できる企画なら何でも自由。参加申し込みは二月二十八日までに市観光協会(☎38415)へ。

市育英資金奨学生

市教育委員会では、来年度の市育英資金貸付基金による奨学生を募集しています。

市内に居住し、今春高校に進学する中学生であれば、県立・私立高校を問わず応募できます。貸付金は月額一万円です。貸付金は月額一万円は無利子。希望されるご家庭は二月二十四日までに各学校の担任の先生へお申し込みください。なお、この奨学金は

香典返しなど市民のみなさんからの尊い寄付によって運用されています。詳しくは教育委員会総務課(☎3691)へ。

国・県のモニター

国と県では、アンケートへの回答や、国または県に対する意見・要望の提出などをしていただく各種モニターを募集しています。

モニターの種類と募集人数は▽経済企画庁「物価モニター」三人▽農林水産省「食糧品消費者モニター」二人▽通商産業省「政策モニター」一人▽佐賀県「くらしのモニター」五人。

ご存じですか

申し込みは二月十五日までに生活環境課市民相談係(☎3576)へ。各モニターの業務内容など詳しくは同係へお尋ねください。

土地区画整理事業変更事業計画書を縦覧

鳥栖北部丘陵土地区画整理事業の変更事業計画書の縦覧を次の日程で行います。

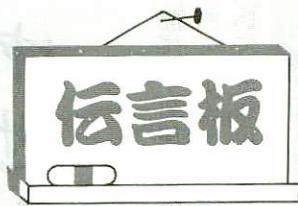
期 間 二月四日(土)から同十七日(金)まで午前九時から午後五時
縦覧場所 地域振興整備公団

鳥栖都市開発事務所(京町・鳥栖ビル三階 ☎1855)に生活環境課市民相談係(☎3576)へ。各モニターの業務内容など詳しくは同係へお尋ねください。

図書館の貸し出し券を取りに来てください

市立図書館のオープン前に貸し出し券の申し込みをされて、まだ取りに来られていない方が二百人余りおられます。早めに取りに来てください。

また、貸し出し券申し込みの住所と現在の住所が異なる方は市立図書館(☎3630)までご連絡ください。
農業経営移転に関する特別相談会
農業委員会では、高齢農家などを対象に農業経営の移転



■休日救急医療センター事務員を募集

休日救急医療センターでは、休日に勤務できる事務員1人(60歳未満の方)を募集しています。勤務条件や賃金など詳しくは保健センター(☎3650)へ。

■劇団四季公演「赤毛のアン」前売券を好評発売中

3月18日(土)午後6時半、市民文化会館。不朽の名作「赤毛のアン」この素晴らしい原作の世界を劇団四季が歌と踊りで再現します。前売券はS席8,000円、A席6,000円、B席4,000円、C席3,000円。市民文化会館、市内プレイガイドで好評発売中。問い合わせは劇団四季全国営業部(横浜市☎045-903-1523)へ。

■佐賀北高通信制生徒募集

応募資格は中学校卒業、高校中退者または高校卒業で、選抜方法は書類選考と面接。学費は年間約1万5,000円。願書の受け付けは3月1日から同31日までに佐賀北高等学校通信制(〒840佐賀市天祐二丁目6-1☎0952-4189)へ。なお、願書は市教育委員会に用意しています。

■福祉レクリエーション講習会受講生を募集

2月17日(金)午後1時半～4時、社会福祉会館。対象は社会福祉、医療に携わる方や福祉レクリエーションに関心のある方。内容は高齢者や障害者へのリハビリのためのレクリエーションの紹介と実技など。受講料500円。申し込みは2月15日までに市社会福祉協議会・福祉レクリエーション講習係(☎3455)へ。

聴覚障害者相談

県総合福祉センター(身体

福祉

とき	相談会場
2月13日(月)	J A 鳥栖基山鳥栖支所
" 14日(火)	" 田代支所
" 15日(水)	" 基里支所
" 16日(木)	" 麓支所
" 17日(金)	" 旭支所

※時間はいずれも午後1時半～4時

に伴う諸問題(農地の移動・税の問題・農業者年金の受給など)についての特別相談会を開きます。
農業委員と同委員会事務局職員が相談をお受けしますので、お気軽にお問い合わせください。詳しくは同委員会事務局(☎3569)へ。

寄付

12月28日現在(敬称略)

香典返し

社会福祉協議会

会へ▽橋本喜美子(元町、亡夫哲男)▽石田秋雄(宿町、亡妻ハツ)▽松尾安正(永吉町、亡母ミチエ)▽高尾保利(飯田町、亡母サヨ)▽中村大基(大分県中津市、亡母南伊)▽門司秋子(養父町、亡夫一)▽西依保信(今町、亡長男保法)▽久保山次郎(神辺町、亡父源市)▽古川よしえ(田代大官町、亡父勲)▽

申し込みは福祉事務所、ろうあ者協会などのほか、直接県総合福祉センター(FA X 0952-4679)でも受け付けます。
ふれあい地域福祉講座
社会福祉協議会では、地域福祉の輪を広げる「ふれあい

一般寄付 社会福祉協議会へ▽四千四百円:匿名▽九千七百円(子供クラブぜんざ

地域福祉講座」を鳥栖地区の方を対象に開きます。
とき 三月一日(水)から同二十二日(水)まで(計四回)午後一時半～三時半
ところ 鳥栖公民館
受講料 無料
内容 車いす介助・ガイドヘルプのしかた、寝衣・シー

指定寄付 社会福祉協議会へ▽二万円(朝日山学園建設資金へ指定):宮崎一彦(南部団地)
歳末たすけあい 社会福祉協議会へ▽二千五百円(バザール益金):めぐみ保育園(村田町)▽六万円:ダイアナめ

の交換、リハビリなど家庭介護技術(実習)ほか
申し込み 社会福祉協議会(☎3555)へ。おおむね三十人で締め切ります
嘱託員の交代
1月1日付・敬称略
河内町 徳洲秀雄(67歳)

ぐみメンバー一同(姫方町)▽一万三千四百三十円:権藤宜計(今町)▽一万五千七百十四円:鶴田恒子(古賀町)▽百円:匿名▽一万円:オーディオサービス(秋葉町)▽一万五千七十二円:陣内民子(古野町)▽一万円:樋口トエ(轟木町)▽三万円:古賀正人、古賀俊祐(儀徳町)▽七十三円:匿名▽十万円:鳥栖市老人クラブ連合会(田中友夫会長)▽二万九千九百円:(有)篠原工務店(高田町)▽五万円:井樋榮一(競馬場団地)

高齢者就職情報
高齢者職業相談室(市役所商工課内)では、高齢者への職業紹介や雇用相談などを行っています。現在企業から次のような求人申し込みがあつています。
詳しい仕事の内容や勤務条件などは同相談室(☎3556)へ。
●ホテルフロント(本鳥栖町):男五十～六十歳、十七万七千円
●組立加工(基山町):男十八～六十歳、十三万八千～十七万五千円
●守衛(秋葉町):男二十～六十五歳、十二万～十五万円
●常駐警備(上峰町):男六十～六十五歳、十二万五千円
●清掃(基山町):女二十～六十五歳、時給七百円
●看護助手(元町):女二十～六十歳、十三万円

